

平成26年度神奈川県教育委員会表彰
神奈川県立学校の児童・生徒表彰 受賞者一覧

No	学校名	個人 団体の 別	氏名又は団体名	学年	行為・実績等のあらまし
1	鶴見高等学校	団体	生徒会・ボランティア委員会・有志		<p>ユニクロが主催する「服のチカラ」に参加し、近隣の小中学校・町内会に協力を依頼し、段ボールで40箱を超える子供服を集め、ユニクロを通じてアフリカの難民キャンプに送った。</p> <p>また、「東日本被災地ボランティア」を企画し、やまと災害ボランティアネットワークと連携して本校生徒41名が参加し、石巻市立小学校の現地視察・献花、浜辺と神社の清掃活動、仮設住宅訪問を積極的に行った。</p> <p>文化祭でも「服の回収」「被災地ボランティアの報告」を行うなど、貢献活動を積極的に推進している。</p>
2	神奈川工業高等学校	個人	みずの ねね 水野 寧々	3 学年	<p>工業科目への関心が高く、特に溶接について熱心に取り組み、2年時に「神奈川県高校生溶接コンクール」で準優勝し、関東大会に出場した。</p> <p>また、「かながわ国際サイエンスフォーラム」において、溶接に関するポスター発表を行うなど、様々な場面でものづくりの大切さを発信している。</p> <p>さらに、幼い頃から空手を続けており、2年時には「オープントーナメント全日本空手道選手権大会」「オープントーナメント全日本ウエイト制空手道選手権」で優勝するなど、文武両道を実践する姿は、他の生徒の模範となっている。</p>
3	神奈川工業高等学校	個人	さいとう ゆうすけ 齋藤 悠介	3 学年	<p>全ての科目の学習に熱心に取り組んでおり、特に建築に関する興味・関心が高く、非常に前向きに取り組む、国家資格である「技能検定（建築大工）」3級に見事合格した。</p> <p>また、今年度の「高校生ものづくりコンテスト神奈川大会（木材加工部門）」で優勝し、関東大会に出場した。</p> <p>技術向上に向けて努力する姿は、他の生徒の模範となっている。</p>
4	横浜平沼高等学校	個人	たなか けん 田中 健登	3 学年	<p>平成24年度より全国高等学校総合体育大会の本県生徒実践委員会委員長として活動し、様々な情報発信活動や、大会期間中の県内8か所に設置した総合案内所の運営等の取り組みを推進した。その結果、大会は大成功を収め、当該生徒はその立役者の一人である。</p> <p>また、自校バドミントン部で初心者から3年間活動し、3年次には団体戦メンバーとして県大会出場を果たした。本県のスポーツ活動へ大きな貢献をしている。</p>
5	横浜立野高等学校	団体	生徒会執行部		<p>P T Aと連携し、「朝のあいさつ運動」を実施しており、校内だけではなく、隣接している小学校と合同での活動(朝のあいさつタイム)も行っている。</p> <p>特に、「朝のあいさつタイム」では、全校よりボランティア生徒を募集し、地域と連携し、様々な方面へ活動を広げていく構想で取り組んでおり、生徒会執行部はその活動の中で、ボランティア生徒を牽引する中心的役割を担っている。</p>

平成26年度神奈川県教育委員会表彰
神奈川県立学校の児童・生徒表彰 受賞者一覧

6	横浜南陵高等学校	団体	ボランティア委員会		<p>毎年、春と秋の校内募金（緑の羽根、赤い羽根、東日本大震災義援金等）、エコカップの回収、校内花壇の水やりを実施している。</p> <p>また、文化祭において、近隣の特別支援学校や福祉施設の制作物の委託販売や夏季休業中の特別支援学校の納涼祭において模擬店運営の手伝いをするなど、校外のボランティア活動にも積極的に参加し、自己研鑽に励むとともに地域に大きく貢献している。</p>	
7	光陵高等学校	個人	のむら 野村	みな 美奈	2 学 年	<p>本年7月に開催された第38回文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権大会全国大会女子個人戦において優勝するとともに、第38回全国高等学校総合文化祭囲碁部門女子個人戦において第6位という成績を収め、囲碁に関する優れた技量を有している。</p> <p>また、サッカー部のマネージャーとして部活動を支えながら、学業成績も学年でトップクラスであり、他の生徒の模範となっている。</p>
8	光陵高等学校	団体	吹奏楽部			<p>長年にわたり、毎年12月に学校に隣接している特別支援学校を訪問し、クリスマスコンサートを開催している。小学部から高等部までの全校生徒を対象としたコンサートで、好評を博している。</p> <p>また、最寄駅前の大型商業施設から依頼があり、平成23年度より毎年3回の演奏を行っており、多くの聴衆が集まり、高い評価を得ている。</p> <p>地域との交流を深め、地域への貢献を果たしている。</p>
9	旭高等学校	団体	サッカー部 バスケット ボール部			<p>平成15年よりサッカー部とバスケットボール部が、競技の広がりや近隣の中学生との交流を目的に近隣中学校等に参加を呼びかけ、夏休みの1日を設定して技術指導や合同練習を終日行っている。</p> <p>生徒が運営を行い、両部とも、高い技術を中学生に伝授し親睦を深めており、地域からは高い信頼と評価を受けている。</p> <p>さらに、サッカー部については、秋にも少年サッカー教室を開催するなど、地域との交流を積極的に図っている。</p>
10	金沢総合高等学校	団体	硬式野球部			<p>年間通じて週2、3回、朝に通学路・学校周辺の清掃を行うとともに、近隣住民の方々に積極的にあいさつをすることを心掛けている。</p> <p>また、2度の大雪時には最寄駅から学校までの歩道を全て除雪し、多くの方々から感謝の言葉をいただいた。</p> <p>年間を通じた清掃活動は、地域の美化への貢献だけでなく、地域の方々との交流にも大きな役割を果たしている。</p>

平成26年度神奈川県教育委員会表彰
神奈川県立学校の児童・生徒表彰 受賞者一覧

11	釜利谷高等学校	団体	硬式野球部		<p>児童や園児が安心・安全に登校できるように、朝の登校見守り隊として地元の警察署と連携しドライバーへの安全運転を呼びかけた。</p> <p>また、定期的に地域清掃活動や近隣小学校の行事に参加するなど、地域の方々との交流を深め、学校と地域の信頼関係を築く一助となっている。</p>
12	釜利谷高等学校	団体	J R C 同好会		<p>ペットボトルのキャップ回収といった日常的な取り組みから、シンガポール赤十字社に係る国際的な活動まで、年間を通じて様々な活動を行っている。</p> <p>文化祭でブースを出展し、紛争地帯における地雷の危険性や被害について発表した。</p> <p>また、救急法トレーニングで、生徒への救急法普及に大きく貢献するなど、奉仕の心を持って、社会貢献活動に地道に取り組んでいる。</p>
13	港北高等学校	個人	あべ 阿部 こすぎ 小杉 ゆい 結 はるき 春稀	1 学 年	<p>本年5月、通学途中に本校近くの路上で高齢の男性が自転車で転倒し、苦しそうにしている姿を見かけてすぐに携帯電話で119番通報した。救急車が来るまでそばで介抱し、男性の自宅まで連絡を取り、救急隊員に事の経緯等を的確に説明し、引き渡した。</p> <p>適切な対応と思いやりあふれる行動は、他の生徒の模範となるものである。</p>
14	岸根高等学校	団体	体操部		<p>地域の幼児や小学校低学年の児童たちに体操教室を行った。</p> <p>幼少時より、体を動かすことの楽しさ、規律を守ることの楽しさを幼児・児童に伝えることで、スポーツの楽しさを感じ、生涯スポーツや健康管理への興味関心を持つよう工夫し、地域の保護者や教育関係者等に深く感謝された。</p> <p>地域のスポーツ振興及び地域連携に大きく貢献している。</p>
15	新栄高等学校	団体	吹奏楽部		<p>ボランティア活動の一環として、近隣の介護施設や高齢者用住宅での演奏、保育園、小学校、中学校との交流授業も行っている。</p> <p>音楽を通して、世代を超えた交流を行うことができ、地域の活性化に大きく貢献している。</p> <p>今年度は区制20周年のチャリティーコンサート、警察署から依頼があった秋の交通安全パレードへの参加も予定している。</p>

平成26年度神奈川県教育委員会表彰
神奈川県立学校の児童・生徒表彰 受賞者一覧

16	上矢部高等学校	団体	陶芸部		<p>5年連続で全国高等学校総合文化祭立体部門に神奈川県代表として出品し、神奈川県美術展で入選するなど、個人の制作、発表活動が盛んである。</p> <p>毎年夏休みに小中学生対象の陶芸教室を行っている。また、平成25年度戸塚区民まつりでは自作の陶器を販売し、売上げを福島県の授産施設に寄付するなど、地域との交流も積極的に行っている。</p>
17	横浜修悠館高等学校	個人	もり 森 ひろこ 宏子	3学年	<p>3年間ボランティア委員会に所属し、通学路清掃、花植え整備、文化祭企画（カレー調理、販売）等委員会の諸活動に率先して参加し、他の生徒を支えて本委員会活動を活性化させた。</p> <p>また、学習活動はもちろんのこと、各種行事にも積極的かつ真摯に取り組む姿は、他の生徒の模範となっている。</p>
18	川崎高等学校	個人	なおい 直井 あやか 彩香	3学年	<p>地域の小学生や障がい者が英会話や理科実験を通して交流するカルチャースクールの高校生スタッフと、警察署から委嘱を受けて実施している非行防止教室など様々なことに取り組んでいる。</p> <p>昨年の文化祭では、東日本大震災の写真の展示と募金活動を行い、今年は手話ソング、聴覚障がいについての展示、聴覚障がい者団体への募金を行った。</p> <p>昨年度ボランティア部が内閣府特命大臣より「社会貢献青少年表彰」を受けることができたのは、本生徒が部長として部員をまとめあげた成果である。</p>
19	川崎工科大学高等学校	個人	やまざき 山崎 みさと 美里	3学年	<p>10人ほどの未経験者ばかりの吹奏楽部に経験者として、また学年でただ1人入部し、部員たちに辛抱強く譜読みの方法や楽器奏法を教えるなど、部活動の活性化に大きく貢献した。</p> <p>2学年より部長として、常に音楽に対する明確なビジョンを持ちながら練習メニューを提案し、全ての学校行事を演奏で盛り上げ、シーズンごとの校内中庭コンサートの企画も実施した。</p> <p>また、地域のお祭りや児童施設、連合音楽会への参加など、地域との連携にも積極的に取り組んだ。</p>
20	川崎北高等学校	団体	ダンス部		<p>本校体育祭において、高津養護学校川崎北分教室の生徒と合同で演技発表を行い、分教室生徒の公演を支え体育祭を盛り上げた。</p> <p>また、保育園での演技発表や小学校盆踊りでの演技発表を通して地域との交流を深めることに大きく貢献した。</p>

平成26年度神奈川県教育委員会表彰
神奈川県立学校の児童・生徒表彰 受賞者一覧

21	向の岡工業高等学校	団体	放送部		<p>かわさきマイスターが講師を務めるラジオ制作教室のサポートスタッフとして、訪れた小学生に、はんだ付けなどの指導を毎年行っている。</p> <p>活動を発展させ、赤外線リモコンロボットの制作教室などを、会場である川崎市生活文化会館でくのかわさきの支援を受けながら独自に運営している。</p> <p>また、毎年NHK杯全国高校放送コンテストに出場するなど、校内放送での活動も活発に行い、そこで身につけた放送技術を生かして、近隣町内会の例大祭での音響運営を行うなど、地域に貢献する活動を行い、大変感謝されている。</p>
22	向の岡工業高等学校	団体	相撲部		<p>長年にわたり県内の小・中学生を対象とした相撲教室を定期的開催している。相撲は小・中学校ともに専門の指導者が少ないため、安全面から技術的な指導まで、相撲部の生徒が中心となり指導している。</p> <p>また、地域の活性化事業である「餅つき大会」なども、イベントを盛り上げるべく「まわし」を巻いて参加している。</p> <p>さらに、幼稚園等でも体力向上を目的とした相撲体操や相撲体験などを精力的に行うなど、様々な地域のイベントで、相撲部で身につけた技術を還元する活動を行っている。</p>
23	菅高等学校	団体	TEAMツツミ	2 学 年	<p>地域の防災についての調査結果を、11月に神奈川県社会科研究発表大会で発表した。水害や富士山噴火時の降灰被害について調査や研究、聞き取り調査を実施した。並行して全国の4つの高等学校を対象にアンケート調査も行った。</p> <p>この内容を、本年8月全国郷土研究発表大会で発表したところ、最優秀賞を受賞した。</p> <p>本団体は、地元地域との結びつきを大切にしながら調査・研究を進めてきており、町内会の防災訓練への参加、文化祭等におけるパネル展示による郷土意識の啓発、地元3地区における住民への聞き取り調査等、積極的に取り組んでいる。</p>
24	麻生総合高等学校	団体	合唱部		<p>本校創立当初より少人数ながら病院や福祉施設を中心に年10回以上の演奏会を実施している。施設コンサートのみならず、地域の音楽連盟・合唱連盟に加盟し、合唱祭などに積極的に参加し、その中でのイベントの運営に当たる等、幅広い活動を行っている。</p> <p>地域との交流を積極的に図り、活性化に大きく貢献している。</p>
25	追浜高等学校	団体	チアダンス部		<p>年間を通して数多くの地域のイベントに積極的に参加し、地域の方々との交流を深め、地域の活性化に貢献した。</p> <p>イベント参加にあたっては、多くの時間を練習に割きレパートリーを増やし、お年寄りから子どもまで幅広い年齢層に喜んでいただけるようプログラムの工夫をするなど、地域のために日頃の努力を惜しむことなく活動している。</p>

平成26年度神奈川県教育委員会表彰
神奈川県立学校の児童・生徒表彰 受賞者一覧

26	津久井浜高等学校	団体	生徒会執行部		<p>夏服への衣替えの前に「制服を正しく着る」キャンペーンを張り、登校してくる生徒に声かけを行ったり、学校説明会での司会や学校生活の説明など積極的に活動を行った。</p> <p>また、地域の青少年育成団体と協同し、地域の小・中学校PTA主催行事や地域行事にスタッフとして参加し、地域の方々と交流を図り、信頼関係を築いた。</p>
27	津久井浜高等学校	団体	吹奏楽部		<p>16年続く地域住民対象のコンサートに今年度も参加し、地域住民、小・中学生と交流した。</p> <p>復興支援コンサートとして昨年度、宮城県の高校生と本校吹奏楽部が合同演奏や発表などにより交流を図り、今年度も12月に実施した。</p> <p>コンクールや発表会だけでなく、地域住民対象のコンサートに参加し、地域貢献・社会貢献活動も積極的に行っている。</p>
28	平塚江南高等学校	個人	ますだ めぐみ 増田 萌美	2 学 年	<p>本校での学習活動・書道部での活動等の傍ら、自らのチャレンジとしてロープスキッピングに熱心に取り組み、昨年度はアジア大会、今年度は世界大会に出場し、見事な成績を収めた。</p> <p>左足首の靭帯を損傷してしまったが、過酷なりハビリにも弱音を吐かず、約4か月に渡る療養の後、練習を再開し、今年度は世界オープントーナメント選手権女子部門で個人戦総合第8位、団体戦総合第7位に入賞する活躍をした。</p>
29	平塚江南高等学校	団体	J R C 委員会		<p>今年度は地域の夏祭りに準備から運営・片付けまで携わり、運営事務局から大変感謝された。</p> <p>また、地域の小・中学生の学習支援活動を行うスターアシストでは生徒会本部役員とともに活躍し、粘り強く小・中学生の勉強を支援した。</p> <p>自ら率先して活動場所を求め、校内から地域へと多岐にわたり積極的に活動の幅を広げている。</p>
30	平塚農業高等学校	団体	園芸科学研究班		<p>宇宙環境に滞在したトマト種子を使って栽培試験を実施したところ、生育が良好であった。さらに科学的な証明につながるため、トマト種子の放射線実験を行ったところ、一定のガンマ線量における生育が最も良好であることがわかった。</p> <p>このような実験により、放射線の生物影響に関する正しい知識と理解を深め、現在進行している放射線問題に対して発信しようと努力している。</p>

平成26年度神奈川県教育委員会表彰
神奈川県立学校の児童・生徒表彰 受賞者一覧

31	高浜高等学校	団体	吹奏楽部	<p>長年にわたり、港地区福祉まつりでの演奏や公民館・老人ホーム・病院でのコンサートなど、地域からの依頼を受けて演奏活動を行っている。 また、被災地応援コンサートで募金活動を実施するなど、様々な形で地域貢献活動を行っている。</p>
32	平塚商業高等学校	団体	平商鉄板Project2014	<p>地域行事や学校行事で積極的に飲食店を出店し、店舗経営を学ぶことを通じて社会に貢献するというコンセプトのもと、様々な取り組みを行っている。 7月には平塚市料理飲食業組合連合会とコラボレーションし、地元食材を使用した商品開発、湘南ひらつか七夕たから市（グルメグランプリ）にて出店し、販売数では501食、人気投票では20団体中5位となるなど、地産地消活動に貢献した。 また、「国際交流デー」「ぶちひらつか2014」といった地域社会貢献活動にサポート出店を行い、活動の場を広げている。</p>
33	平塚商業高等学校	団体	平商ぶちひらつか運営委員会	<p>地域の小学生約500名を対象とし、「子ども会議事業」「プレ事業（小学生によるインターンシップと物産販売）」「メイン事業」の3つの事業により小学生の街づくりを行い、就職、給料支払い、消費活動といった活動を地域団体や協賛協力企業と協働して5年前から継続して運営している。 生徒が自ら小学生の募集、広報などの事業の計画を立て、協賛協力企業団体約40団体との交渉や、平塚市教育委員会への講演依頼など、企画・運営全般を行い、地域に大きく貢献している。</p>
34	平塚湘風高等学校	団体	読み聞かせボランティア	<p>平成23年度より隣接している小学校において、朝の「読み聞かせ」ボランティアに参加している。年6、7回継続して行っており、毎回10名程度の生徒が自主的に参加し、世代を超えた交流を行うことで、良好な地域社会との関係を築くことができている。 子どもたちからも好評で、地域との交流を深め、地域への貢献を果たしている。</p>
35	藤沢西高等学校	団体	吹奏楽部	<p>毎年、地区の青少年育成協力が主催する行事へ自主的かつ積極的に関わっている。 「春一番音楽会」では、大勢の地域の方々を聴衆として、近隣中学校の吹奏楽部とともに演奏を披露しており、20年継続している。 地域の小学生と本校部活動生徒との交流イベントである「遊ing西高」では本年で14回目を迎えたが、様々な楽器に触れる機会を提供し、小学生に音楽の楽しさを伝えるなど、地域に大きく貢献している。</p>

平成26年度神奈川県教育委員会表彰
神奈川県立学校の児童・生徒表彰 受賞者一覧

36	藤沢西高等学校	団体	コーラス部		<p>7月には、近隣小学校において学童保育交流コンサートを開き、子どもたちとともに歌う形式で発表を行い、8月には、地域の病院のリハビリ病棟にてコンサートを開催し、入院患者を励ますボランティア演奏を行った。それぞれの発表の場にふさわしいプログラムを考え、今後も地域交流のコンサートを企画するなど、地域の活性化に大きく貢献している。</p>	
37	湘南台高等学校	団体	ダンス部		<p>昨年度末に行われた新人大会で3位に入賞し、2年ぶりの全国大会出場権を得た。8月の全国高等学校・大学ダンスフェスティバルにおいて技術力の高いダンスを披露し、審査員から高い評価を得た。 また、地域との交流も積極的に行っており、今年度は9月に行われた近隣中学校の文化祭に参加し、中学生にダンスの楽しさや、メンバー全員が力をあわせて一つの楽曲を踊りきることの喜びなどを伝えるなど、幅広い活動を行っている。</p>	
38	湘南台高等学校	団体	合唱部		<p>部員数10名という小規模ながら、本校ボランティア部とともに近隣の老人ホーム等を訪問して合唱を披露したり、毎年、湘南台七夕祭りのステージで歌を披露するなど、積極的に校外での活動に参加し、地域から高い評価を受けている。 地域連携行事である「いちょうの集い」においても、連携行事後の交流茶話会で合唱を披露し、地域の方々から好評を博し、地域交流の活性化に大きく貢献している。</p>	
39	小田原高等学校	個人	みずこし 水越	のぶかず 進一	3 学 年	<p>大学進学を目指し、定時制課程での勉学に日々熱心に取り組んでいる。 また、早朝よりアルバイト先の強羅まで小田原駅よりランニングで行き、脚力を鍛えている。今年度、第49回全国高等学校定時制通信制体育大会神奈川県予選5000mをトップで通過し、予選タイム全国10傑で1位のタイムとなり、第49回全国高等学校定時制通信制体育大会陸上競技5000mに出場し、2位の好成績を収めるなど、文武両道を実践する姿は、他の生徒の模範となっている。</p>
40	小田原城北工業高等学校	個人	保健委員会 委員長 すずき 鈴木	かいた 魁斗	3 学 年	<p>東日本大震災の被災地である石巻市の現状を伝えながら、被災地の方々が出した物品の販売等を行い、就労支援として売り上げの収入を石巻市に送るボランティアを実施した。 また、保健委員会が作成した「保健だより」を配布し、文化祭では保健福祉事務所・小田原市保健センター・横浜国大と連携し骨密度測定を実施し、食事の重要性や基本的な生活習慣を身につける栄養指導等を行うなど、生徒や地域の方々への健康意識を高めた。</p>

平成26年度神奈川県教育委員会表彰
神奈川県立学校の児童・生徒表彰 受賞者一覧

41	茅ヶ崎西 浜高等学 校	団体	女子バスケット ボール部		<p>バスケットボールの競技力向上に日々努力するとともに、毎朝校舎内外の自主清掃を継続して行っている。</p> <p>また、地域自治会の合同防災訓練に参加し、防災の知識・技術の習得に努めるとともに、地域住民との交流を深めた。</p> <p>さらに、茅ヶ崎市、茅ヶ崎警察署、地域団体とともに自転車の交通安全を啓発するデモンストレーション走行を実施し、各方面から好評価を得るなど、地域での貢献活動等を積極的に推進している。</p>
42	逗葉高等 学校	個人	そうま みき 相馬 美季	2 学 年	<p>生徒会活動を始め、所属する中高生ボランティア団体を通して各種のイベントに参加しており、積極的に社会貢献活動に参加している。</p> <p>また、「かながわハイスクール議会」や「女子高生未来会議ディスカッション」等へ積極的に参加するなど、新たな取組みに果敢にチャレンジする姿は、他の生徒の模範となっている。</p>
43	相原高等 学校	団体	農業科、商業 科		<p>農商ハイブリット校の特徴を生かし、「農商が担う6次産業化で本校産の安全安心な食材を地域住民の食卓に届けます」をテーマに、商品の企画から販売までを農業科・商業科合同で行い、食材の加工・商品化など企業とも連携を図っている。</p> <p>今年度は、「本校産の安全安心な商品を地域に提供」をテーマに活動を行っている。</p>
44	上溝高等 学校	個人	しのざき ゆめ 篠崎 夢	3 学 年	<p>登校途中にJR上溝駅ホームで高齢の男性が倒れた現場に居合わせ、周囲にいた方々と協力して人命救助を行った。</p> <p>周囲が驚き、動揺する中、「私が掛けます」と冷静に通報役をかって出た。その間、周囲の方々は心臓マッサージ等を施し、救急隊員の到着を待った。男性は一命を取りとめ、数日後無事退院されたとの連絡があった。</p> <p>勇気ある行動と適切な対応は、他の生徒の模範となるものである。</p>
45	神奈川総 合産業高 等学校	団体	広報スタッフ		<p>校内の学校説明会や中学校PTAの学校見学、校外での全公立展・公私合同説明会・県産業教育フェア等の企画・立案や当日の運営・進行等を行っている。</p> <p>また、説明会だけでなく、小学生の体験教室や文化祭での発表の補助、本校で開催されるロボフェスタでの司会進行等多岐にわたった活動を行っており、他の生徒の模範となっている。</p>

平成26年度神奈川県教育委員会表彰
神奈川県立学校の児童・生徒表彰 受賞者一覧

46	神奈川県総合産業高等学校	団体	生徒会		<p>学校内では、募金活動（緑の羽根、赤い羽根、東日本大震災支援）を行っている。</p> <p>地域では、厚木市の社会福祉法人が主催するイベントや、地域自治会の七夕祭りに参加・協力するとともに、近隣高校と連携した地域清掃等の活動を地道に継続している。</p> <p>また、「市政モニター」や「ハイスクール議会」等にも積極的に参加しており、学校内外にわたり積極的な活動を展開している。</p>
47	相模原高等学校	団体	福祉委員会		<p>地域最大のイベント「相模ねぶたカーニバル」、地元保育園のユニットプール組立てと解体作業を兼ねた園児との交流事業において、委員の生徒自ら参加するとともに、全校生徒への熱心な働きかけによりここ数年参加者が増えている。</p> <p>また、地元自治会のお祭りへの協力や社会福祉協議会との連携による高齢者との交流、募金活動など、様々な地域交流の場に積極的に参加しており、地域の方々から高い評価をいただいている。</p>
48	上溝南高等学校	団体	福祉特別委員会		<p>設立当初から募金活動やエコキャップ運動、文化祭への保育園児の招待等、様々な活動を行っている。</p> <p>特に近年は、近隣の保育園との地域連携活動として概ね月1、2回、放課後訪問し、保育園児と交流活動を継続して取り組むなど、地域や社会に貢献する活動を積極的に行っている。</p>
49	相模原青陵高等学校	団体	生徒会本部		<p>平成23年度より毎月2回のあいさつ運動を実施し、登校してくる生徒に笑顔であいさつを交わっている。</p> <p>昨年度からは道路交通法の改正に伴い、ヘッドホン乗車や傘差し運転をしている生徒に積極的に声をかけ、自転車乗車マナーの改善にも取り組んでいる。</p> <p>また、ボランティアとして地域の各種イベントに参加するなど、校内だけでなく、地域のために積極的な活動を行っている。</p>
50	相模田名高等学校	個人	いちかわ市川	あきのぶ 明信	<p>3学年</p> <p>夏季休業中に実施される相模原市田名地区における小中学生への学習支援活動である「宿題お助け隊」に参加し、1年次より3年にわたり継続的かつ意欲的に支援活動に取り組んだ。</p> <p>この活動は、学業不振による少年の非行の抑止に大きく寄与し、地域の子どもセンターより高く評価され、感謝されている。</p> <p>また、地域の小中学校で行われる、「あいさつ活動」にも積極的に取り組むなど、地域に大きく貢献している。</p>

平成26年度神奈川県教育委員会表彰
神奈川県立学校の児童・生徒表彰 受賞者一覧

51	秦野曽屋高等学校	個人	せきの かいと 関野 海斗	2 学年	<p>勉学に熱心に取り組みながら、限られた練習時間のなかロードワーク、筋トレ、イメージトレーニングなどで基礎部分を鍛え、世界レベルに果敢にチャレンジし、マレーシア・スーパー・シリーズ選手権大会で優勝する快挙を成し遂げた。</p>
52	厚木商業高等学校	団体	女子ソフト ボール部		<p>本年6月の第64回関東高等学校女子ソフトボール大会において優勝し、また8月の第66回全日本高等学校女子ソフトボール選手権大会において第3位という輝かしい成績を残している。</p> <p>清掃活動では、校舎内はもとより、毎日の早朝練習前に学校前の道路の清掃活動に取り組んできた。</p> <p>また、他の生徒、教職員、近隣住民へのあいさつなどを主体的、継続的に行うなど、他の生徒の模範となっている。</p>
53	厚木商業高等学校	団体	ボランティア 部		<p>平成9年度創部以来、校内及び地域でのボランティア活動に取り組んでいる。校内では定期的なゴミ拾い、PTAとの連携で校内美化清掃を行っている。校外では地域の公園の美化活動、自治会の夏祭りに協力するとともに、地域の災害避難所開設訓練に企画段階から参加し住民の牽引力として活躍した。</p> <p>また、ロータリークラブに協力し、あつぎ鮎まつりでは、ポリオ撲滅キャンペーンに参加し、募金活動を行うなど、学校内の活動のみならず、校外での活動も熱心に取り組んでいる。</p>
54	厚木清南高等学校	個人	さとう あやか 佐藤 綾香	2 学年	<p>地域のスイミングクラブに所属し、本年5月に行われた第90回日本選手権水泳競技大会シンクロ競技において、フリーコンビネーション(10人編成)2位、チーム(8人編成)3位の実績を残した。</p> <p>また、9月に行われた第69回国民体育大会においても神奈川県代表選手として選出され、デュエットで準優勝と優秀な成績を収めたことは、他の生徒の模範となるものである。</p>
55	厚木清南高等学校	個人	なめかわ たつや 滑川 竜矢	3 学年	<p>全国高等学校定時制通信制生徒体験発表大会(定通高校生の青春メッセージ)において関東大会最優秀賞受賞者として自己の生活体験を発表し、全国大会会長奨励賞及び厚生労働省職業能力開発局長賞を受賞した。</p> <p>また、映画部部長や生徒会長を務め、創造力、企画力を発揮しテレビ番組へ参加するなど、様々な場面で中心的な役割を果たし、何事にも弛まぬ努力と熱意を持って取り組む姿は他の生徒の模範となっている。</p>

平成26年度神奈川県教育委員会表彰
神奈川県立学校の児童・生徒表彰 受賞者一覧

56	大和南高等学校	団体	生徒会本部役員		<p>平成24年度よりほぼ毎朝、登校してくる生徒に朝のあいさつ運動を実施している。あいさつは人間関係の基本であり、あいさつのできるカッコイイ高校生を目指そうと呼び掛けている。</p> <p>また、昨年秋には、校内の全てのトイレの壁のペンキ塗りをする活動を部活動にも呼び掛けて実施するなど、学校をより良くすることに貢献している。</p>
57	大和南高等学校	団体	女子バレーボール部		<p>全国高等学校総合体育大会に神奈川県代表として、10年連続11回目の出場を果たした。昨年に引き続き、国体にも出場し、春高バレーの出場も決定した。</p> <p>また、地域の小中学生にバレーボール教室や大会を行うなど地域との交流を深めている。</p> <p>さらに、日頃より自主的に校内の清掃活動や様々な学校行事に関わるなど、他の生徒の模範となっている。</p>
58	大和西高等学校	団体	バスケットボール部		<p>平成22年度より毎年、中学校とのカップ戦形式の交流ゲームを開催し、地域の中学校との交流を深め、活性化に貢献している。</p> <p>また、校内での美化活動や「あいさつ運動」等にも率先して取り組み、他の生徒の模範となっている。</p>
59	伊志田高等学校	個人	かわぐち川口 みなみ美南 きたおか北岡 なおき直樹	3学年 2学年	<p>帰宅途中、段差につまずき転倒し、額から血を流して倒れている高齢の男性を見つけると、すぐに男性に近づき、声をかけたがはっきりした反応がないため、近くの家から住人に現場の住所を聞き、携帯電話から119番通報した。</p> <p>救急車が到着するまで、近くの家から椅子を借り座らせながら、近所の親子とともに男性を見守り続け、救急車の到着後、救急隊員に状況を的確に説明した。</p> <p>この適切な対応と思いやりあふれる行動は、他の生徒の模範となるものである。</p>
60	二宮高等学校	団体	演劇部		<p>平成24年度、25年度に警察署及び二宮町教育委員会からの依頼を受け、小学校で1、2年生を対象に、自分たちで劇の脚本、演出、さらには出演して地域の子どもたちに対する交通安全運動の啓発に努めた。26年度も12月に2つの小学校で実施した。</p> <p>地域との交流を深め、地域に大きく貢献している。</p>

平成26年度神奈川県教育委員会表彰
神奈川県立学校の児童・生徒表彰 受賞者一覧

61	吉田島総合高等学校	個人	あべ のどか 安部 和佳	3学年	草花の栽培や研究、飾花活動による地域貢献活動を3年間継続して行った。特に開成町の幼稚園・小学校・中学校のパンジーの植替え交流(全4校)、開成町社会福祉協会とのフラワーアレンジメント等による交流、開成町社会を明るくする運動での町役場・小学校等のヒマワリの植付け、講演会会場の飾花及び無料寄植え講習会・コサージュ教室等、様々な活動においてリーダーとして中心的な活動を行い、地域に大きく貢献している。
62	吉田島総合高等学校	個人	きたむら まさし 北村 昌史	3学年	草花の栽培や研究、飾花活動による地域貢献活動を3年間継続して行った。特に、開成町駅前花壇の植付けや同交番の飾花(年2回)と花壇の管理作業を行い、植物を通じて地域に大きく貢献している。 また、松田警察署との非行防止キャンペーンでは、積極的なPR活動を行うなど、幅広い活動を行っている。
63	吉田島総合高等学校	団体	農業クラブ草花部		平成22年度より近隣の幼稚園、小学校、中学校の卒業式や入学式の飾花活動を行っているが、平成26年は、合計8校の卒業式(小学校3校は入学式も含む)の飾花活動を行った。 開成町以外の近隣の小・中学校にも積極的に出かけ、卒業式に1校80~150プランターの花を添えたいへん喜ばれた。 植物を通じての地域へのボランティア活動を継続して行い、地域に大きく貢献している。
64	津久井高等学校	団体	美術部		平成25年度より相模原市消防団津久井方面隊と連携し、消防団の詰所のシャッターに防火を呼びかけるイラストを描いた。 火災予防の啓発活動の一助となり、地域の防災活動に大きく貢献している。 これにより、地域住民への火災予防の意識啓発や消防団のイメージアップを図った。
65	津久井高等学校	団体	「農業入門」 (自由選択科目)受講生徒		毎年6月と11月に、近隣の福祉施設や特別支援学校に、学校の農場で栽培した季節の野菜を届けている。これらの施設や学校へは長年にわたり、毎年野菜を届けており、たいへん喜ばれている。 また、毎年9月には近隣の小学校から児童を招いて、本校の生徒が指導しながら、学校の農場で収穫をする体験の場を提供するなど、地域貢献、地域との交流を継続して行っている。

平成26年度神奈川県教育委員会表彰
神奈川県立学校の児童・生徒表彰 受賞者一覧

66	中原養護学校	団体	チェアメンテナンス班		<p>平成15年度より、チェアメンテナンス班の生徒が、校内の肢体不自由教育部門児童生徒の車椅子の整備を行ってきた。さらに活動範囲を広げ、一昨年度より、近隣の病院の患者用車椅子の整備も請け負っている。</p> <p>また、毎年11月の文化祭では、来場者に向けて車椅子整備を実演し、活動の様子を紹介している。昨年7月には、福祉機器展示会(ヨコハマヒューマン&テクノランド2013、パシフィコ横浜会場)に参加し、実演披露を一般来場者に向けて行うなど、地域社会に大きく貢献している。</p>
67	藤沢養護学校	団体	藤沢養護学校鎌倉分教室		<p>鎌倉分教室開室以来、分教室の生徒たちが種から育てた朝顔を「かまくら福祉朝顔市」で販売をして、今年で3年目をむかえた。</p> <p>生徒一人ひとりが朝顔の育成に主体的に関わり、また、朝顔の販売を通じて市を訪れる多くの一般のお客様とふれあうなど、地域の方々との交流にも大きな役割を果たしている。</p>
68	小田原養護学校	個人	たかぎ あさの 高木 麻乃	高等部3学年	<p>日頃、学業に熱心に取り組むとともに、日々の努力が実り第8回神奈川県障害者スポーツ大会800mで優勝し、大会記録も更新する快挙を成し遂げた。</p> <p>また、第14回全国障害者スポーツ大会に神奈川県代表として出場を決めることができた。</p>
69	小田原養護学校	個人	くろさわ つばさ 黒澤 翼	高等部3学年	<p>第10回神奈川県技能大会木工の部において、社会人の競技者が多い中、学生という立場で参加し、会場の雰囲気になじめることなく高い技術力を発揮することができ、金賞を受賞した。</p> <p>また、第34回全国障害者技能競技大会・木工の部に神奈川県代表として参加した。</p> <p>日常の作業学習でも積極的に取り組み、完成度の高い作品を製作しており、他の生徒の模範となっている。</p>
70	相模原養護学校	団体	高等部クリーン班		<p>校内の廊下や窓、玄関等の清掃に取り組むとともに、校外では、平成25年1月より毎週金曜日に相模原ギオンスタジアムでスタンドの観覧席等の清掃を、同年11月より相模原市南区交流ラウンジで室内・窓等の清掃を行っている。</p> <p>地域の美化への貢献だけでなく、地域の方々との交流にも大きな役割を果たしている。</p>

平成26年度神奈川県教育委員会表彰
神奈川県立学校の児童・生徒表彰 受賞者一覧

71	岩戸養護 学校	団体	生徒会	<p>文化祭の進行や校内交流行事の企画・運営、意見箱の設置等に積極的に取り組むだけでなく、役員は、毎学期校内で募金活動（緑の羽根、赤い羽根、ユニセフ）を行っており、各募金の趣旨を説明するチラシを作成する等、理解啓発のための工夫を重ねている。</p> <p>東日本大震災の折も、募金活動を自ら企画・実施し、日本赤十字社に寄付を行うなど、社会貢献活動を積極的に行っている。</p>
----	------------	----	-----	--